

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年8月9日	
明治大学の所属学部・研究科	商学部商学科グローバルビジネス専攻(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)	
留学(渡航)した時の学年	3年生	
帰国年月日	2023年8月8日	
明治大学卒業予定年月	2024年3月	
留学先大学について		
留学先国	ドイツ	
留学先大学	ジーゲン大学(日本語名) ドイツ語(現地言語名)	
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ドイツ語	
留学期間	2022年9月～2023年8月	
留学先大学で在籍した学年	?年生	
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): 経営 (現地言語での名称): B.Sc. Betriebswirtschaftslehre <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:	
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月上旬～2 月上旬	2 学期: 4 月上旬～7 月下旬
	3 学期: ~	4 学期: ~
学生数		
創立年		

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	272×11€	円	エネルギーコストの問題で途中で 230€くらいから値上げした。
食費	200×11€	円	基本は自炊だが、週一程度で外食。学食が 3.5€でお腹いっぱい食べれる。
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	15×11€	円	ALDI の SIM を買った。
現地交通費		円	学生証があれば州内は無料。 (<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	30×4€	円	ジム
被服費		円	
医療費		円	
保険費	119.94272×11€	円	形態:BARMER に加入した。
渡航旅費	3000€	円	
ビザ申請費		円	
雑費	300×11€	円	旅費や交際費
その他		円	
その他		円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 成田	目的地: フランクフルト 経由地: バンコク
復路 出発地: フランクフルト	目的地: 成田 経由地:
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: タイ航空 料金: 140,000 円 復路 航空会社: JAL 料金: 240,000 円 ∴ 合計: 380,000 円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: 当該航空会社 HP) <input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

学生寮(寮の名前:) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

学校の案内が来る。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

インド人がルールを守らず深夜もずっと大声でパーティーをしている。やめてと言っても聞いてくれない。ある程度の覚悟は必要。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

この街は学生の人口が多く治安がいいです。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地の sim を買って使いました。回線はよく問題はないです。寮の wifi は途切れ、友人のやつを共用で使わせてもらっています。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本であらかじめ閉鎖講座というものをつくらなければならない、自分の場合 expatorio というサービスを使った。また、日本から持ってきたクレジットカードも併用した。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

コンタクトの方は目薬持っていくのを勧めます。あとは常備薬や変電プラグなど一般的に必要なもの

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 8 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
European and International Economic law		ヨーロッパ&国際経済法
科目設置学部・研究科	Faculty 3	
履修期間	10 月 - 2 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Prof. Dr. Jörn Griebel	
授業内容	EU 内・EU 間で行われる取引における法律を学ぶ。	
試験・課題など	課題はなし。留学生向けに口頭試験を設けてくれる。	
感想を自由記入	この先生が留学先で出会った中で一番留学生に寛容で、柔軟に助けてくれる先生でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Wirtschaftsenglisch A		経済英語
科目設置学部・研究科	Faculty 3	
履修期間	10 月 - 2 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Dr. Monika Becker	
授業内容	授業の PDF の問題を解いて、教授とディスカッションする。	
試験・課題など	毎週一定程度のリーディングの課題が課される。成績評価はリーディングのテストのみ。	
感想を自由記入	ドイツ語で英語を学ぶ貴重な機会だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Wirtschaftsenglisch B		経済英語 B	
科目設置学部・研究科	Faculty 3		
履修期間	4月—7月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Dr. Monika Becker		
授業内容	授業のPDFの問題を解いて、教授とディスカッションする。		
試験・課題など	毎週一定程度のリーディングの課題が課される。成績評価はリーディングのテストのみ。		
感想を自由記入	ドイツ語で英語を学ぶ貴重な機会だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Englisch Zielstufe C1.1		英語—ターゲットレベル C1.1	
科目設置学部・研究科	Faculty 3		
履修期間	10月-2月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に240分が1回		
担当教授	Dr. Anna Kubisz-Sambrook		
授業内容	英語のスキルアップ。4技能満遍なく勉強する。		
試験・課題など	適宜教授の出す課題が指示される。中間テストと期末テストがあり、どちらも4技能を図るテスト。		
感想を自由記入	一週間240ということもあり、非常にしんどかったが、ためになったと思う。テストはすごく難しく、正直単位が取れていることが奇跡だと思う。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

(WEB サイト)外資就活,Openwork,onecareer,matcher,Linkedin,web(書籍)WEB テスト関連全傾向分、フェルミ推定の技術、東大生が書いたケース・フェルミ推定の本、問題解決プロフェッショナル+適宜

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

株式会社シグマケシス

①組織の風通しの良さ

②組織の動きのよさ

③コンサルティング×投資事業の両輪に基づくプロジェクト実行力

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

就職活動するにせよ、しないにせよ、一度留学行く前に腹をくくるといいかもしれません。正直留学中に就職活動することはしんどかったです、それでも多くのことを学び時に批判されて大きく自分なりのキャリアの方針を固めることができたことから、就職活動をして良かったと思っています。人には人の考え方がるように、キャリア形成においても、人それぞれのペースがあって良いと思うので、自身が納得できるように行動をすることが一番大事だと思います。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 勉強
	10月～12月	学内専攻・発表
留学開始年	1月～3月	学期末テスト・レポート
	4月～7月	協定校に出願・旅券購入・滞在先の確保
	8月～9月	渡航
	10月～12月	ビザ申請(自分は相当遅かったです。)・冬学期開始
留学/帰国年	1月～3月	学期末試験
	4月～7月	夏学期開始
	8月～9月	帰国
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

まず、ドイツを選んだ理由としては、英語・ドイツ語両方を学ぶことができるからです。私は第二外国語としてドイツ語の勉強を始め、留学する国では英語・ドイツ語両方を活かせるような場所が良かったからです。そして、留学先であるジーゲンを選んだ理由は、地理的条件が良いことがあげられます。ノルトラインヴェストファーレン州内ならIC/ICE以外の公共交通機関は全て無料で使うことができます。休日は、その権利を使ってケルンやデュッセルドルフ、ドルトムントなどに観光などに行くことができます。授業に関しては、英語のプログラムで参加しているのですが、ドイツ語の授業も自由に取ることができるので、一年通して4つの授業に参加しました。

ドイツに渡航してからは、「独力で生きていかなければならない」という責任感が生まれ、一年を通して多くの側面で成長できたと思っています。学業ではもちろんのこと、学業以外でもドイツを拠点に10カ国ほど海外旅行も経験し、各国独特の文化を味わえたことも、ヨーロッパ留学をして良かったと思える一つの利点かもしれません。また、私自身は三年秋学期からの留学ということで、留学と就職活動を同時にしていました。日本にいる学生の就活のスピード感に圧倒されながらも、自分なりに自己分析や企業対策を進め、「留学のせいで就活が台無しになった」と後悔したくないという思い一心で頑張りました。11月ごろから本腰を入れて始めた就活も、翌年3月ごろにかねてから志望していた企業様から内定をいただくことができました。現在では、「留学も、就活も楽しく両立することができた」と充実感に満ち溢れています。

これから留学を志す方の中には、「なんとなく海外に行ってみたい」という方も多いかもかもしれません。私自身もそうでした。前述で色々書きましたが、結局は「なんとなく海外で1年間住んでいろんなところに行ってみたいなあ」なんて程度です。要は、それでも良いということです。(就活の際、すごい偉そうな“オトナ”から「君は適当だね、そんなんじゃ就活も留学も大したもの得られずに終わるのが見え透いているよ。」なんて言われたものです。なんとなんちゃってまず、実際。)質、なんとなくで選んだ道でも、自分なりに試行錯誤しながら、その道を前に進む努力は必要だと感じます。語学を伸ばすにせよ、海外生活を楽しまいにせよ、はたまた留学をしないと決断するにせよ、選んだ道を正解だと思えるように頑張る事が一番です。私は留学してから本当に多くの人間関係を築く事ができました。(学生、ワーキングホリデー、駐在員、教授、美容師、経営者 etc)これら一人一人が輝かしい人生を送っており、常に刺激となり、自分の価値観に大きく影響を与え続けられました。半年/1年間の海外生活の中で、必ず一人になる事があり、また必ずたくさんのお会いがあると思います。その中で、自分なりに学びや楽しみを見いだしてみたいのであれば、留学を選択肢の1つとして持っておくのも悪くはないと思います。